

エアコンの2017年度（平成29年度）の出荷台数

「環境エネルギーネットワーク21」主任研究員 岸本哲郎

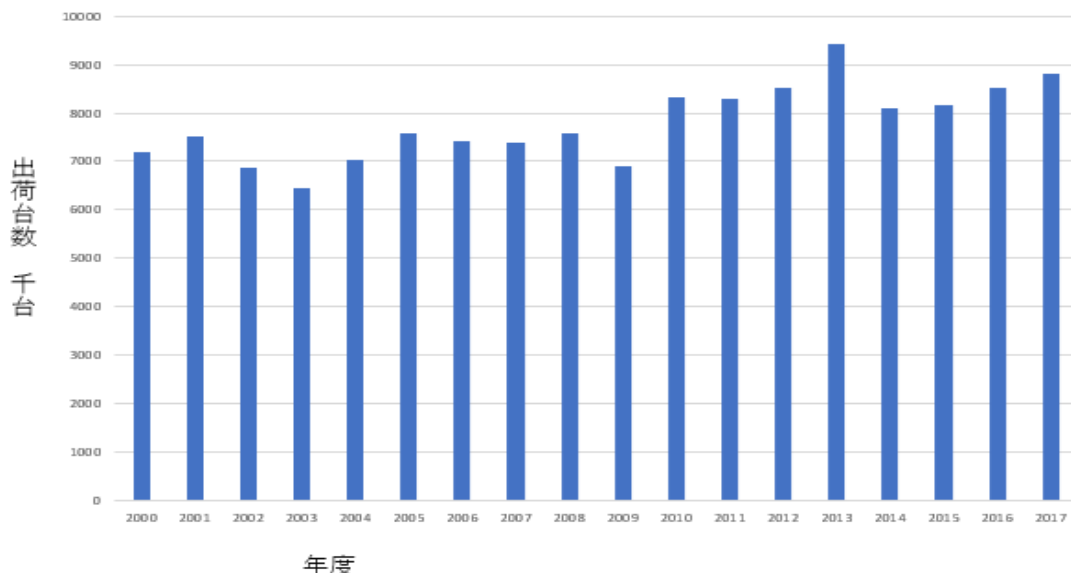
7月の中旬以降各地で猛暑が続いており、7月23日には埼玉県熊谷市で日本での観測史上最高気温となる41.1℃を記録しました。この暑さはまだしばらくは続きそうです。

一般社団法人 日本冷凍空調工業会から2017年度のエアコンの国内出荷台数が公表されています。

国内出荷台数は2000年代の初めは700万台前後で推移していましたが、2010年ごろからは800万台を超える水準で推移、特に2013年度は900万台を超える過去最高の出荷台数になっています。この2013年度の記録は本年度にこの猛暑の後押しで更新されるかもしれません。

市場拡大の主な要因は買い替え需要の拡大や経済状況の改善、夏場の気温の上昇など様々な要因があると思いますが、空調業界としては一段と大きな安定した市場規模に成長しています。

エアコンの国内出荷台数推移



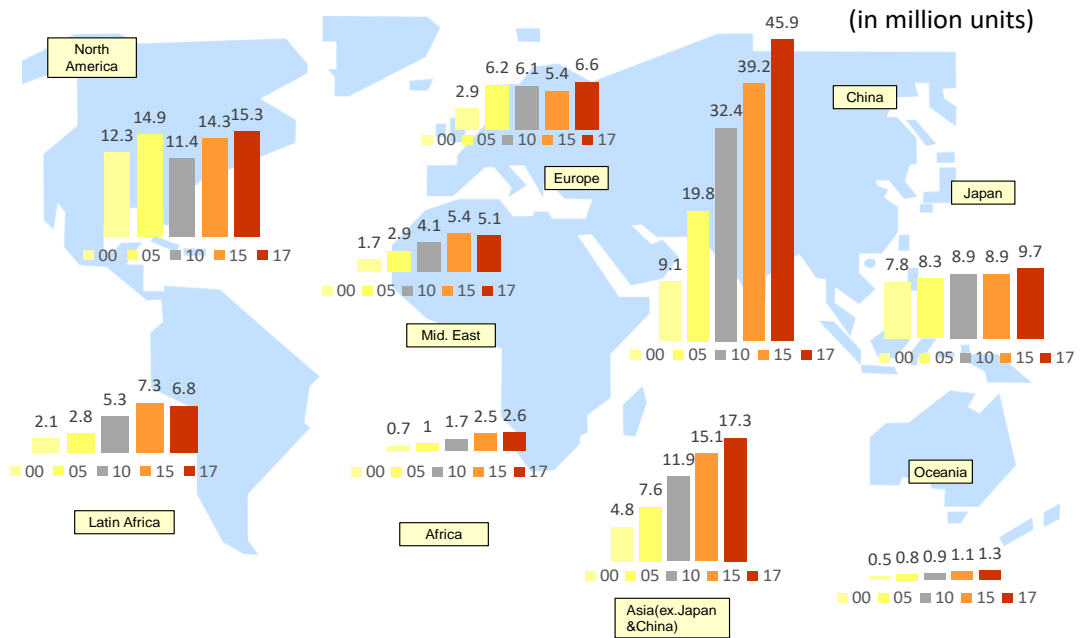
また2017年の世界の市場規模を見てみると、中国の大幅な成長により飛躍の年となり、世界エアコン市場は1億台を大きく突破しました。

特に中国での販売台数は4500万台を突破し、世界の総需要の40%を超えるまでになって

います。

東南アジアでは一部地域では天候の影響により市場規模は縮小しましたが、全体では順調な成長を見せています

世界のエアコン市場の推移 1,1055万台(2017年)



一般社団法人 日本冷凍空調工業会の統計から

この20年間をしてみると中国のエアコン市場は90倍、アジアでは3.5倍、南米は7倍、アフリカは13倍に膨れ上がっています。

冷凍空調機器は今後も途上国の経済成長や都市部の気温の上昇等の影響もあり、大きな成長が見込まれますが、電力エネルギーの供給の課題が大きく顕在化してくると思われる。今後インバータなどの省エネ技術がますます重要になってくると予想されます。